

数学科【第2学年】年間指導・評価計画

府中市立府中第五中学校

1各学年・各分野の学習目標

- (1) 文字を用いた式と連立2元1次方程式、平面図形と数学的な推論、1次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

2指導内容および評価規準

(1) 式と計算

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	- 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 - 具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。	具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。	文字を用いた式のよさを実感して粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。
5	- 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 - 目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。	

(2) 連立方程式

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5	二元一次方程式とその解の意味を理解している。	一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。	連立二元一次方程式のよさを実感して粘り強く考え、連立二元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、連立二元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。
6	- 連立二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 - 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。	連立二元一次方程式を具体的な場面で活用することができる。	

(3) 1次関数

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7	一次関数について理解している。	一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。	一次関数のよさを実感して粘り強く考え、一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。
9	- 事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを知っている。 - 二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。	一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	

(4) 平行と合同

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10	- 平行線や角の性質を理解している。 - 多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。	基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明することができる。	平面図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

(5) 図形の合同

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11	平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。	三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。	証明のよさを実感して粘り強く考え、図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
12	証明の必要性和意味及びその方法について理解している。	三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。	

(6) データの比較と箱ひげ図

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	- 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 - コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	四分位範囲や箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。

(7) 確率

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解している。	同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。	場合の数を基にして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、確率を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
3	簡単な場合について確率を求めることができる。	確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。	